

在庫数の把握を自動化し、最適な生産計画を策定

基幹系
システム

データ連携

申請事業者：株式会社 一心商事（えびの市）
業 種：食肉加工事業

従業員数：8名
設 立：2020年



入在庫データと売上データを連携し、最適な生産計画を策定！

取組の概要

導入部門：本社、事務所

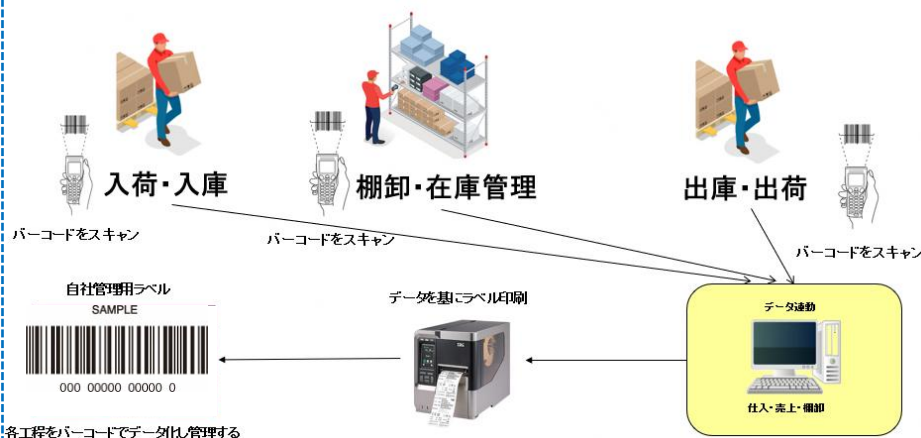
導入業務：在庫管理

導入目的：在庫の正確な管理するため

導入技術：販売管理システム「販売大臣NX ERP LANPACK」
在庫管理システム「MBC在庫管理システム」

導入手法：入庫時にバーコードを貼り付け、それをスキャンし在庫管理を行う。
さらにその情報を販売管理システムに連携し、生産計画を立てる。

導入費用：¥4,500千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①Excelと手作業の棚卸によって在庫管理を行っており、時間を要している。
- ②入力ミスが頻発し、正確な在庫管理ができておらず、効率的な生産計画が立てづらい。
- ③製品の不足や過剰在庫が発生しており、生産の無駄が起きている。

●解決に向けた課題設定等

- ①入出庫時にバーコードをスキャンすることで、在庫数の把握を自動化。さらに、棚卸作業を廃止。
- ②③在庫管理システムの情報を販売管理システムに連携し、最適な生産計画を作成。

取組の成果

- ・在庫管理にかかる時間を、**20%削減**
在庫データを入力する時間 10時間/日 → 8時間/日
- ・生産計画を作成する時間を、**75%削減**
生産計画を作成する時間 4時間/日 → 1時間/日
- ・棚卸にかかる時間を、**100%削減**
棚卸作業を行う時間 8時間/人 → 0時間/人